

「東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス」

Tokyo College of Music Naka-meguro・Daikan-yama Campus



「音楽のみち」「音楽の森」から学生が練習する姿が垣間見える

■大学とまちが共に発展するキャンパス

当建設地は中目黒と代官山をつなぐ接点に位置し、ポテンシャルの高い場所だった。そこで音楽大学の持つ文化的エネルギーによりこの二つのまちをつなげ、未来ある若者たちが音楽や文化・社会と共鳴しあい、エネルギーあふれる新しい学びの場を創造することが、この大学の目指す教育と二つのまちの発展に大きく寄与するものと考えた。このキャンパスで、音楽・文化・社会を担う豊かな感性を持つ若者が育つとともに、音楽でまちを育て、社会という豊かな音楽を奏でるオーケストラのような存在となることを願っている。

■耐震壁を活用した構造計画と躯体表現

周辺の緑と調和する内外壁コンクリート躯体の表情を現し、高い遮音・防振性能が求められる部屋を区画する機能を確保したRC造耐震壁を多く配置した強度型の耐震設計を行った。耐震壁を多く配置することで、約10mの敷地の南北方向傾斜による片土圧にも抵抗できる架構としている。オーケストラ広場には、地震力を負担しない扁平柱と扁平梁によりガレリアを一体的につなぐ空間づくりを行っている。オーケストラ広場の東西は上階を剛強なスラブにて一体化して、一体感のあるカーテンウォールの表情をつくっている。

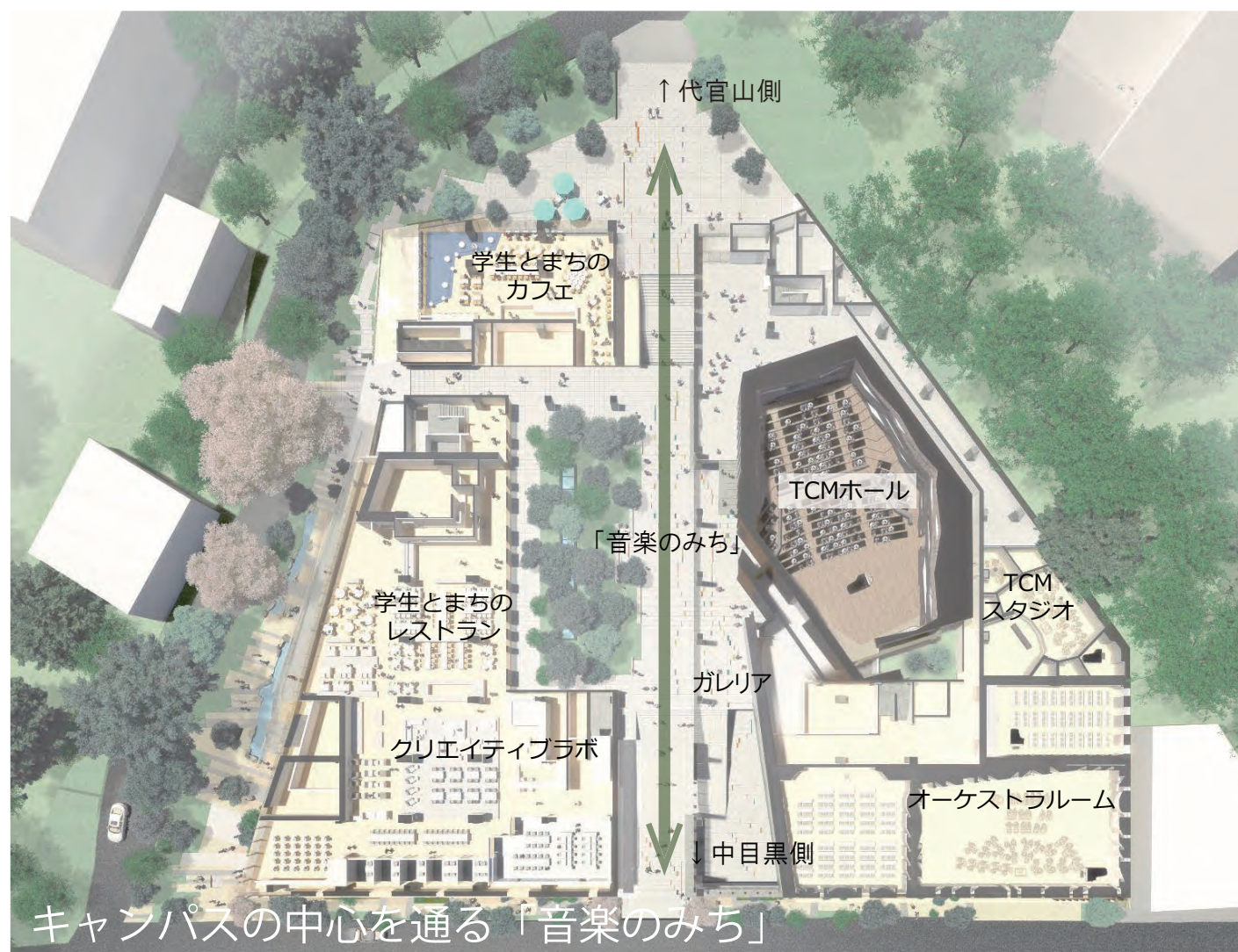
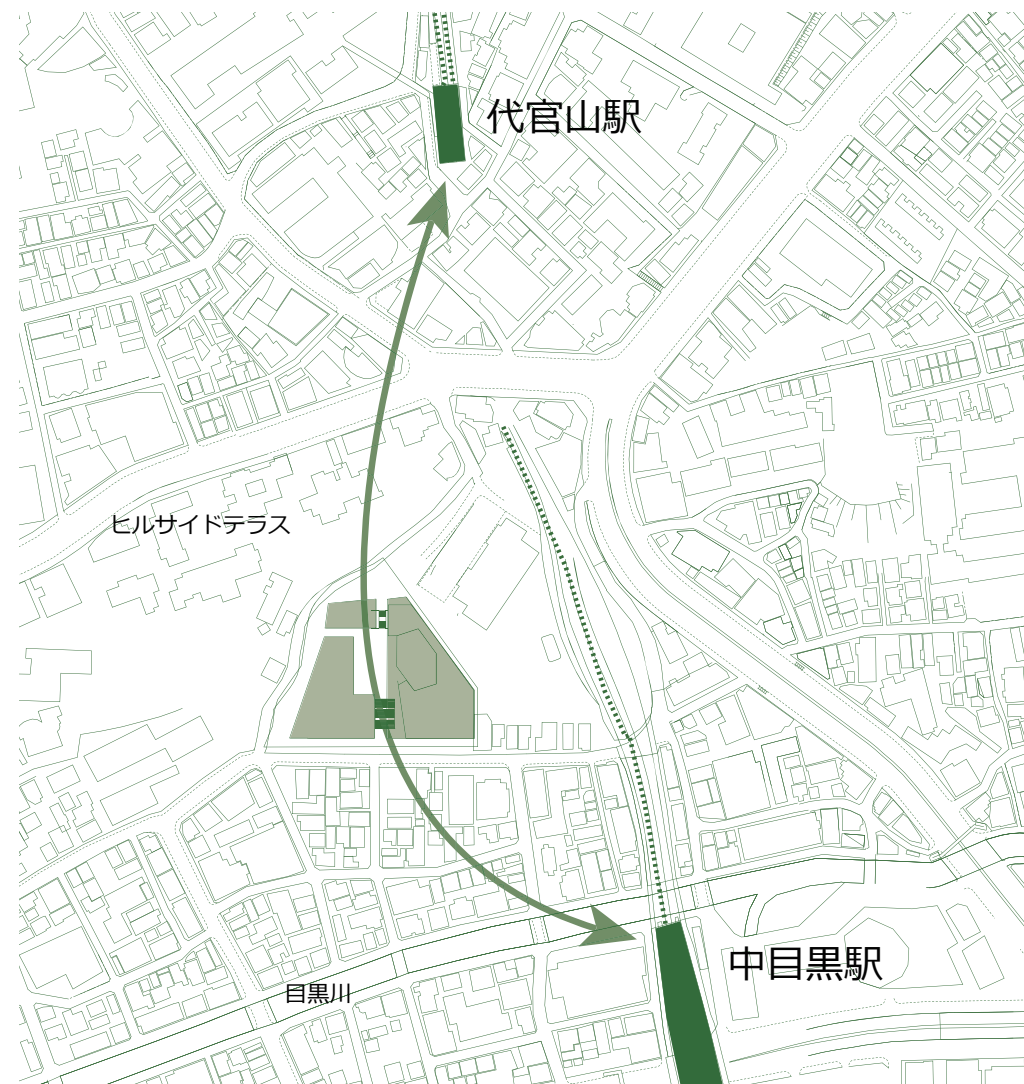
■緻密な音響設計と環境に調和する計画

本大学は、音楽大学として多数のレッスン室・練習室・教室・音楽ホール・レコーディングスタジオを有しており、音環境として最適な空間となるよう緻密な音響シミュレーションを繰り返しながら設計をした。また、地下貯留による雨水再利用や太陽光パネルの設置等様々な環境配慮設計も行っている。ランドスケープは緑豊かな敷地内の既存樹木を極力残しながら、「武蔵野の森の再生」をテーマに来訪者への散策路や憩いの場を提供している。夜間は樹木のライトアップや木立の影を壁面に映し出し、緑に溶け込みまち並みに調和するような計画とした。

まちと協奏するみどりの中の音楽大学



「音楽のみち」と繋がるガレリア



キャンパスの中心を通る「音楽のみち」



代官山側の顔は、周囲の文化的で閑静な街並みや木々に馴染む佇まいを目指した



TCMホール（音楽ホール） 舞台背後の光庭から自然光が降り注ぎ、光と音に包まれる

■ PROJECT DATA

所在地 東京都目黒区
主要用途 大学
設計・監理 日建設計・戸田建設株式会社
一級建築士事務所

敷地面積 8,538㎡
建築面積 5,542.75㎡
延床面積 17,719.57㎡
階数 地下1階/地上3階/塔屋1階
構造 RC、一部SRC造
竣工 2019年1月

■ PROJECT MEMBER

PM 加藤 亨
意匠 浦波 寛弥 四方 一樹 酒井 彩花
構造 川又 哲也 柿沼 貴博
設備 杉平 善宣 岩崎 大輝
篠ヶ瀬 恵市 小野寺 和久 宮本 祐太